

くろべ市民交流センター施設概要



1. 名称 黒部市くろべ市民交流センター

2. 住所 黒部市三日市725番地

3. 設置目的 市民が集い学ぶ文化・交流の拠点として、市民の交流を積極的に推進し、もって新たな価値を創造するとともに、市民の主体的な活動を推進し、もって市民協働を実現し、さらには未来の黒部市を担う人材を育成する場の提供及びまちなかの賑わいを創出するため、くろべ市民交流センターを設置する。

4. 施設及び事業

(1) 施設

- ① 黒部市立図書館
- ② 黒部市立三日市公民館
- ③ ほがらか子育て支援センター
- ④ 移住・人つなぎ支援センター(※)
- ⑤ 市民活動推進施設

(2) 事業

- ① 黒部市立図書館事業に関すること。
- ② 黒部市立三日市公民館事業に関すること。
- ③ ほがらか子育て支援センター事業に関すること。
- ④ 移住定住の促進及び関係人口の増加に関すること。
- ⑤ 市民活動の推進に関すること。

※ 移住・人つなぎ支援センターとは

移住定住・関係人口の増加に向けた取組を強化することを目的とし、市役所庁舎内の関係業務を集約し、新たに設置します。具体的には、移住についての相談にのったり、地域を案内します。加えて、テレワークやワーケーションで市外から来られた人材と黒部の企業等との出会いをマッチングし、黒部の企業等の相談にのって頂いたり、課題の解決を図ってまいります。農業に関わりを持ちたい方には、農家を紹介したりします。市外の人とのマッチングも行います。

5. 基本コンセプト

(1) 建設基本構想「市民が集い学ぶ文化・交流の拠点」

- ① 地域の交流・情報センターとして機能性あふれる図書館を核に、市民の文化活動、生涯学習の充実につながる施設
- ② 図書館と子育て支援が融合する施設
- ③ 市民の交流やまちの賑わいを創出し、市民活動を支える施設

(2) 管理運営計画「わたしのサードプレイス」

- ① 居心地の良い自分の居場所
- ② 市民生活を豊かにする場所
- ③ 自らの可能性に気づき、挑戦する舞台を探す場所

6. 施設の主な特徴

(1) 交流のスパイラル「コモンズ(※)」

建物中心部にスパイラル状の階段でつなげた交流空間「コモンスペース」を配置し、みんなが使える書架や展示台、カウンターデスクや作業台、ベンチなど、図書館を核とした気づきや学びを共有する仕掛けを組み込み、活動がリンクする仕組みづくりを行う。

(2) エコスキンによる景観形成

本市の特徴である地産地消のアルミパイプを外装に使用した斬新で存在感のある外観は、新たな黒部市の顔、ランドマークとなる。

7. クロスアシスト(機能融合)事業

交流センターに配置される図書館、三日市公民館、子育て支援センターなどの機能が単に集合しているだけの施設ではなく、これらの事業主体に加え、交流センター運営の協働パートナーとして、ボランティア等団体(図書館・子育て・芸術文化など)や市民公益活動団体(NPO・男女共同参画・商店街活性化・まちづくり・公共交通など)が連携することで相乗効果を生み出す機能融合事業を「クロスアシスト事業」と称し、「機能融合施設」を目指す。

<市民交流センターってどんなところ？>

- ・みんなのチャレンジを応援する場
- ・行政が関わるイベントだけでなく、市民の皆さんが様々なイベントを企画し、実施される場
- ・市民の皆さんが、時間が空いたときに、とりあえず市民交流センターに行くと何かおもしろいことをやってそうだから行ってみようかと思ってもらえる場

<各階パース図>



ウエルカム・コモン 1階



ワーク・コモン 2階



コミュニケーション・コモン 3階



ブック・コモン 4階

※コモンズとは

英語の Commons。和訳すると(二つ以上のものに)共通の、共司の、共通の。

市民交流センターにおいては、誰でもが自由に利用できる空間を「コモンズ」と称し、その利用を通じ市民の交流を促進することによって、人のつながりが生きる人づくり・コミュニティの形成を目指します。